

## 全国安全週間(7/1~7/7)

7月1日～7日は95回目の全国安全週間でした。戸沼社長をはじめ、梅木常務や木村常務他が手分けして土木と建築の現場を訪ね、安全作業の徹底を呼びかけ、安全パトロールを実施しました。



阿部邸新築工事(福島町)



奥尻島(奥尻地区)治山工事(奥尻町)



伏木戸地区予防治山工事(江差町)



霧地区復旧治山工事(上砂川町)



湯ノ倉上流治山工事(宮城県)



文珠地区予防治山工事(歌志内市)



悪風登日緊急予防治山工事(函館市)



一般国道278号 函館市 獅子鼻 災害防除外一連工事(函館市)



静狩漁港機能強化工事(浚渫外)(補正設計)外(長万部町)



原木地区その1緊急治山予防工事(函館市)



平賀地区復旧治山工事(日高町)



# 安全と衛生



戸沼岩崎建設株式会社 発行  
令和4年8月9日  
<http://www.tonuma.com/>  
第253号



## 墜落・転落災害撲滅キャンペーン(8/1~9/10)

令和3年建設業における「墜落・転落」による死亡災害は110件と、令和2年(95件)に比べて増加しています。

「墜落・転落」による死亡災害のうち約半数を占めていた「屋根、はり、もや、けた、合掌」、「足場」、「建築物、構築物」を起因とする死亡事故は約40%にまで減少しましたが、「はしご等」を起因物とする死亡災害が前年に比べて約3.2倍の(6件→19件)大幅な増加となっています。

引き続き、屋根等や足場における作業での安全確保のため、墜落防止設備の設置及びフルハーネス型安全帯を着用するようにし、足元が不安になりやすいはしご等ではなく、ローリングタワー(移動式足場)や作業台の使用を検討し、はしご等を使用する際には、高さ1m未満の場所での作業であっても墜落時保護用のヘルメットを着用しましょう。



## ISO内部監査

当社は、ISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)の要求事項に従って必要なプロセス及びそれらの相互作用を含む統合マネジメントシステムを確立し、実施・維持し、そして、継続的な改善に努めています。年2回実施される内部監査では当社職員が監査員を務めます。職員同士が互いの施工活動を監査することによって、ISO規格への理解を深めるとともに、自からの施工活動で不十分な点を見出すのに役立っています。



奥尻島(奥尻地区)治山工事(奥尻町)



湯ノ倉上流治山工事(宮城県)

## 熱中症予防対策のポイント

熱中症とは、高温多湿な環境で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温や血液を調節する機能が破綻するなどして発症する障害です。処置を怠り手遅れになると死に至る場合もあります。高血圧、心臓病、糖尿病などの内部疾患の持病を持つ人や利尿作用がある薬や発汗を押さえる作用がある薬を服用している人は、薬の種類によって熱中症を発症し易いと言われています。

もし、熱中症が発症したと疑われる場合は、患者の意識の有無に係らず救急車を要請してください。救急車を要請する際は、患者の容態と現場の場所を正確に伝えてください。

救急車が到着するまでの応急処置として、患者を涼しい場所で安静にして、保冷剤を①首の左右、②両脇、③両足の内側付け根などに当てて冷やしてください。患者に意識が「有る場合」は、ゆっくり水分を補給することは効果的ですが、患者が嘔吐をしている場合は仰向けに寝かすことや無理に水分を補給することは危険な場合がありますので注意してください。また、患者に意識が「無い場合」は、保冷剤を①首の左右、②両脇、③両足の内側付け根などに当てて冷やさなければなりません。水分を補給することは危険です。肺に入る可能性があります。さらに、意識が無い患者に水をかけてはいけません。表面の血管が収縮し血液循環が悪くなり、かえって熱が上がる危険性があります。

日頃から熱中症防止対策として下記の点を心がけましょう。

- ・深酒、飲み過ぎをしない。
- ・睡眠不足になるような夜更かしをしない。
- ・体調が悪い時は無理に作業をしない。
- ・涼しい場所で休憩する。作業現場の換気や通気をよくする。
- ・細かな(定期的)に水分と塩分の補給を行う。炭酸飲料やカフェイン含有量の多い飲み物は水分補給に適していない。
- ・熱中アメ、スポーツドリンク、氷、保冷剤などを常備する。
- ・状況に応じて作業時間や作業方法を工夫する。
- ・必要に応じて熱中症対策グッズを活用する。



## ご紹介 山本睦雄 営業部長



山本営業部長は昭和32年8月、函館市生まれ。若い頃から建設業界で活躍され、現場での施工・監理はもとより、若手技術者の育成、企業のマネジメント等、経験豊かな建設マンです。趣味は最近ご無沙汰のゴルフ。「長年培った建築での経験を活かし、戸沼岩崎建設のお役に立ちたい」と気力満々です。